

2011年1月1日～2023年5月31日の間に 当院にて外科的切除を受けられた膵癌患者の方及びご家族の方へ

「膵癌組織におけるガストリン受容体発現の検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学総合内科学2 講師 谷川朋弘
研究分担者 川崎医科大学総合内科学2 教授 河本博文
川崎医科大学総合内科学2 客員研究員 春間 賢
川崎医科大学総合内科学2 特任教授 白羽英則
川崎医科大学総合内科学2 准教授 川中美和
川崎医科大学総合内科学2 講師 末廣満彦
川崎医科大学総合内科学2 講師 西野 謙
川崎医科大学総合内科学2 講師 和田 望
川崎医科大学総合内科学2 講師 浦田矩代
川崎医科大学総合内科学2 特任講師 伏見 崇
川崎医科大学総合内科学2 大学院生 石井克憲
川崎医科大学総合内科学 臨床助教 河田真由子
川崎医科大学総合内科学 臨床助教 三宅圭祐

1. 研究の概要

膵癌は最も予後不良な悪性腫瘍の一つであり、膵癌の5年生存率は現在で10%程度と、他の悪性腫瘍と比較しても非常に治療成績が悪い疾患です。その原因としては、早期診断が困難であること、根治が可能な治療が外科的切除のみであること、有効な薬剤が少ないこと、病態の解明が進んでいないこと、などが挙げられます。一方で、本邦での膵癌の罹患数は増加しており、膵癌の病態の解明や診断や治療法の開発などは急務です。

これまで膵癌の発生や進行にガストリンというホルモンが関与しているということは、これまでの実験や研究の結果で報告されています。これは膵癌組織にガストリン受容体が過剰に発現していることが関連していると考えられます。近年、逆流性食道炎や胃潰瘍などの治療薬としてPPI(Proton Pump Inhibitor)やP-Cab(Potassium-Competitive Acid Blocker)などの酸抑制薬が使用される頻度が増しています。これらの酸抑制薬により高ガストリン血症をきたすことは既に報告されています。近年、長期のPPIの使用により食道がんや胃がん、大腸がんが増加する可能性の報告があり、膵癌も同様に増加するという報告が見られますが、これは酸抑制薬による高ガストリン血症とガストリン受容体の発現によるものと予想されています。しかし、実際の膵癌組織でのガストリン受容体の発現の頻度や程度については、十分な検討が行われていません。

今回、当院で膵癌に対して外科的切除を行った症例の組織を用いて、ガストリン受容体の発現の評価を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年1月1日～2023年5月31日の間に川崎医科大学総合医療センターで外科的切除を受けられた膵癌患者さんを研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院で外科的切除を受けられた膵癌の患者様について、研究者が診療情報をもとに治療内容、血液検査、画像検査、病理検査、身体所見のデータを抽出し、膵癌組織にガストリン受容体の発現の解析を行います。

4) 使用する情報・試料の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、血液検査・画像検査・病理検査・身体所見データ等

試料：手術で摘出した膵癌組織

5) 情報・試料の保存

この研究に使用した情報・試料は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合内科学2教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報・試料は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等をご覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年8月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 内科

氏名：谷川朋弘

電話：086-225-2111（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：t-tanikawa@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。